

# 静岡県浜松市水窪町草木の神名帳

Research Materials

## 井上隆弘

### 神名帳

きやうの日きやうの日三大けくきやう  
さんきくがみ月のまろうと  
ひの日神上にハぼんでん大しやく  
下にハし第の天「」大小  
ふどう明主(王)いか「」のさむろ  
ま<sup>ほ</sup>んこ大主(王)ち神の「」  
五仏のほとけ五神の御神  
みちにてどうろく神天神  
かう神三ほうかう神大とくう  
とう神ゆるりハ四つすみふげんぼさつ  
きたの、天神御ゑべすさむろう  
七ふく神かまの御神かとにハ  
吉ぢやうばらもんにわ天ごん  
火ぶせの神の。とうねん年の  
御神八しやう神井どにハ井と神

御たきの御をうとうけの本ぞん  
本家のほんぞん七やう九やうのほし  
の本ぞん。根のみやむ頭天主大<sup>ほ</sup>  
天主南無牛津天の小さいなり大明神  
あやむら大明神御あすな様の。  
いもりの明神かわの明神わか宮  
様の。みやかう神みや天ばくをうつに  
あらたか御しめの御をうとりいの  
八まんをうさき天ばく山の神の。  
戸中ハ御やくしゆのごんげんかし山天ばく  
山の神わたり天ばく山の神あざぶハ  
大天ごん小天ごん大天ばく小天はく  
たにてたにのをう神ひらにてひらの  
をう神ねわたりはわたり大天ばく  
十六三ヶの山の神の。かまど石山の神  
戌亥ノ天ばくがらんをうそば山の神  
あすきな畑山神なかみね宮「か」神

井と神様の。瀬戸尻みのわの天ばく  
小又ハ日月秋は天ばく金山かう神  
八まん八しやう神ようやく神  
両久頭十五す権現しやうぢの御あみだ  
しろわの明神。下田日月寺本尊  
地双ハいすの権現しやう八まん御あみだ  
五ちのによらい畑梨へそむら天ちん  
竹之しま大天ばく柱戸かつて明神  
御大の天主三川内くまの、こんげん  
御ふどう様の。大野ハあやむら大明神  
いすこんげんしやう八まん天主(王)  
大沢しやう八まん大寄日月風のさむろう  
御やくし様の有本日月御はけの  
明神時原はく山こんげんあや村大明神  
草木ハかみの御みや火のみこあや村  
大明神下の宮にまをう天をう  
三しや神たかハもりさまの。西浦  
火のみこあやむら大明神御すわ  
明神しやうくわんのんくまぶし様の。長一  
さんご八まんあや村大明神いすのこんげん  
しやう八まんながしまこだか明神しろ  
天ばくせどのしやう八まんくらたいら  
南無ごつ天王西みやにてはくさん権現  
おちかた南無牛津天王大原しんしや  
ほんしや小畑ハ三嶋の明神子安のくわんおん  
御あたこさまの。向嶋にて  
南無牛津天王大天ばく上村南無

牛津天王向市場にて寺ほんそん  
しやうくわんおんあまみやしやう八まん  
うすいのごんげん。山住さんぢやう  
権現ちやうかう神にてたかねの明神  
まつしやの御神一切のこさす。神原  
すわの明神しやう八まん今田すいしやく  
天王はがしやうはく山こんげんぬたにて  
しやう八まん沢井池の明神芋ほり  
はく山権現とうどの八まんあい月  
ほんぜんたいしやくすわの明神  
せとましやうハはく山権現西にて  
きぶねの明神いすみハくまの、権現  
ひらにて南無牛津天王平山七しやの  
をう神しやう八まんの。秋はに  
しやうくわんおんしやう一権現をくゑんに  
あら沢ふどうりうとう山にりう  
つくほう。西でに小仏はく山  
権現かすま天しやう大神月よし  
日よし国ます五ぜんますをうせう神  
八まん八しやう神やうやく神。鳳来寺ハ  
みねハやくしの十二神をわりあつた  
大明神津嶋ハ南無牛津天王八まん  
八しやう神ようやく神おいせわ  
神明天しやう大神内宮まつしやハ  
四拾まつしやげ宮まつしや八十まつし  
合て百二十まつしやあめのおみやに風の  
御みやに月よみ日よみあまの岩と一

大日によらい西にてたかねのくんぜい  
北にてすずかのさむろう西のみやにて  
ゑべすのさむろういそべの大神  
ふたみの大神あさまかたけにて  
こくうぞう。ならにて春日明神  
○しんぐハ御やくしほんくハ御阿ミだ  
なちにてくわんおんくまのハ火口の  
大権現ゆのみねさをう権現高野に  
こくうぞう大し大みねかつらきあんの  
行者順礼三十三所のくわんおんさまの。  
おたが大社之大明神  
くらまにびやもんでんひゑい山ゑん  
きやう大しをほつしや八まんながら  
はしもとほく山権現大坂さかよ々  
西ハくわんばくたいこくう石ミやくし  
せきの地蔵をいわにくわんざん大し  
ちりうに池わの明神なるミになぐんの  
明神さかへ地蔵実八からんの。  
池田いけの明神よこおわしやう八まん  
ふなきらすわの明神はままつ  
七しやの権現遠州一みや山しるの  
明神五しやの御すわかもゑのくわん  
おん八たのくわんおんこまつ原にて  
午頭くわんおんかうミやう山にてこくう  
ぞう権現様の。春の御山にほんせん  
たいしやくたるきわいすの権現山「」  
しやう八まんまいざかいなり明神川さ「」

かけ川南無牛津天王につさかしやうくわんのん  
かなやにいぜんの明神しまたハ池の  
明神ふぢゑだまりこのしやう一  
権現さかいの地蔵実八からん。するがの  
国にて今せんげん大みやせんけん  
村山せんけんちうこハ八まん大ほつ  
御たけもせんげん八つのおたけに  
大日によらい御山の天ばく御しめの  
御をう御やくし五ちのによらい  
あしたか山にて大天ごんはこねハ  
ざーざをうこんげん三嶋にさんとの  
明神かまくらしや八まんゑのしま  
べんさいてんさかみの国にて大山  
ふどうせきせんこんげんの。かいの  
せんこう寺五ちのによらいはるなの  
権現明きの権現につかう山にて  
とうしやう権現ずしうにかめ山  
亀いの明神たかねの地蔵に。かずさに  
かんとりうきすの明神をうしう  
しほはまこしやの明神かしまに  
日本天しやう大神むさしの国あざぶの  
ごんげんあさくさのくわんおんあちの  
明神ばんどう三十三所にましますくわんおん様の  
ち、ぶの国にてちくばのごんげん八てん  
小太良ふへふき小次良ち、ぶハ三十  
四しよましますくわんおんさまの。  
ゑちこの国にて米山やくし平けの

わかみや七引ぎつねに八いろのどく  
ぢや戸がくし牛頭くわんおん。しなの、  
国にてすわの明神かみのミさ山  
七千七百下のみさ山七千七百ない  
かまおきかま七拾五をもてあさまか  
たけにて大ごんげん川なかしまにて  
しやうぢ御阿ミた五ちのによらいおのにて  
おの、明神やわたしやう八まんとう山八し  
の御神三しやの神高をのしま  
南無牛津天王大のた小のたにいけの  
明神さかへ地蔵実八からん  
きやう今日にてゆわれまします  
御ぶすな様の一のかた三十まつしや  
二のかた四十まつしや合て七十地神の  
御神地に八百八かう神山にて  
三千五おうねわたりはわたり大天  
ばく川にて十百惣水神井とにハ  
井と神御たきの御おうゆわにハ  
びやくろく木にて木たまの明神  
道にてとうろく神金にて九万八千  
金山四めに四百ご平五百竹にて  
八百海にて七つのかいりう五りう一  
万けんぞく万しや五をう。  
左のかいりやう右のかいりうごりやう大一小一  
大ねぎ小ねぎ神小しりやうねぎ  
小しりやう八百万神一切のこさず  
此家さんしん一の百たい一のみから

て、方せんぞは、方せんぞしんぐ  
しよほさつ一切のこさずをし板  
本尊

寛政十三年

【解題】

静岡県浜松市水窪町草木の太夫（禰宜）を務める滝沢克巳氏所蔵の寛政十三年の年記をもつ同地で最古の神名帳である。

補修のさい、同氏により末尾に次のような奥書が加えられた。

「儀右衛門（梅弥）の使った神名帳である、すでに表紙は破損して書者はわからないが寛政十三年（享和元年とのこと）の年号あり  
古書として保存すべく複製す

昭和四十三年初春

法州道人」

儀右衛門は同家の五代前の当主で、禰宜をしていた。

現在の禰宜の自用本である『禰宜の本』所載の神名帳などに比べ旧態を伝えるものと考えられる。「禰宜死霊」を公然と「しりやう」と表記している点は注目される。

冒頭に屋敷とその周辺の神の名を挙げていることから、個人の屋敷における祭祀に用いられたものと考えられるが、神社で行われる霜月祭における神名帳と大異はないと思われる。

くわしくは、本文「三信遠における死霊祭儀―静岡県浜松市水窪町における霜月祭と念仏踊の比較研究―」を参照されたい。

（民俗芸能学会会員、国立歴史民俗博物館共同研究協力者）

（二〇〇七年九月十四日受理、二〇〇八年二月二十八日審査終了）